

## 2歳以上で、麻しん風しんワクチンを接種していない方 あるいは 麻しん（はしか）・風しん・水ぼうそう・おたふくかぜが疑われる方

1. 上記いずれかに該当する方は、受診日時、場所の調整をご相談させていただきます。  
必ず事前に当院のブロック受付までご連絡ください。
2. 来院されたのちに上記状況に気づかれた場合は、受付や近くのスタッフにすみやかにお声がけください。お子さんの状態や小児科外来の状況により、受診日時や場所の調整についてご相談させていただきます。
3. 当院には、ご自身の病状により予防接種が受けられず、さらに上記のような病気にかかると非常に重くなる方が、受診したり入院したりしています。よって、このような感染症が院内で広がらないように対策を取ることは極めて重要であると考えています。
4. 国内で麻しんや風しんにかかった場合、病院は、かかった方の「氏名」・「性」・「生年月日」「年齢」・「職業」・「住所」などを保健所に届け出ることになっております（「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律施行規則」）。保健所は、その方の行動を詳細に調査します。
5. 麻しんや水ぼうそうにかかった方が外来でお待ちになりますと、一時的な外来の休止や、外来にいらっしゃる方全員へのワクチン歴の確認と予防対策（緊急ワクチン接種、血液製剤や抗ウイルス薬の投与など）が必要となります。
6. 特に、麻しん（麻しん風しん混合）の定期接種ワクチンを受けていない方がそれらの病気にかかり、症状がはっきりする前から多くの方に感染させてしまうことが、日本中で報告されています。
7. 医学的理由（免疫抑制剤や抗がん剤を使用中、元の病気が安定せず接種を見合わせるよう言われている、等）がないのに、定期接種である麻しん風しんワクチン・水ぼうそうワクチン等を接種していない方がそれらの病気で受診し、周囲への予防策（上述）を取る必要が出た場合には、その費用についてご相談させていただくことがあります。
8. 当院の小児病棟には、麻しん、水ぼうそうの患者は入院できません。

お子様の健康と、周囲の方の健康の両面から、日頃より予防接種を推奨しています。  
以上、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

2019年10月

小児科診療部長  
小児外科診療部長